

# 小学校 第6学年 給食時間の学習指導案

## 1 題材名 「地産地消について知ろう」

### 2 題材設定の理由

日本の食料自給率は39%と諸外国と比較しても低い。地産地消は、新鮮なものが食べられる・輸送距離が短い・輸送コストがかからないなど利点も多い。食料自給率を上げるためにも、地産地消の良さに気づき、地産地消を心がけるようにこの題材を設定した。

### 3 本時の目標

地域でとれた食べ物を知り、地産地消の安全性・経済性がわかる。

### 4 食育の視点

食品の生産・流通・消費についての理解を深める。（食文化）

### 5 他教科との関連

総合的な学習 「冬野菜を育てよう」

### 6 本時の展開

過程	学習活動及び学習内容	指導上の留意点	資料
食前	○今日の給食の食材の中に地元で作られたものがあることを知る。	○今日の給食の食材を確認し、この中に地元で作られたものがあることを知らせる。	
食事中	○給食に使われている食材を意識しながら給食を食べる。 ○どの食材が地元で作られたものか予想しながら給食を食べる。	○食事中に意識して食べるように促す。 ○どの食材が地元で作られたものか予想させる。	
食後	<div style="text-align: center; background-color: #f4a460; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">地産地消について知ろう</div> ○今日の給食の食材で、地元で作られたものを知る。 ・紅大根 ・米、その他野菜 ○地産地消の良さを考え、発表する。	○今日の給食の食材の地元で作られたものを紹介する。 ・紅大根 ・米、その他野菜 ○地産地消について知らせる。 ・地元でとれたものを地元で食べること。 ○地産地消の良さを考えさせ、発表させる。 ・近いので、新鮮である。 ・輸送距離が短い。 ・作った人がわかるので安心。	紅大根

### 7 指導のつながり

・掲示物や給食だより等で啓発をはかる。